

石岡市男女共同参画基本計画における成果指標の達成見込みについて

石岡市男女共同参画基本計画では、5つの基本目標の達成度を評価するために、基本目標ごとに目標値（成果指標）を設定しています。

(1) 男女の人権の尊重と正しい男女共同参画理念の普及啓発

指標名	H18年度 計画策定時	H23年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 目標値
男女の固定的役割分担意識を持たない市民の割合	44.7%	46.6%	54.3%	55.0%
女性相談窓口の相談件数 (年)	— (3.0時間)	58件 (3.8時間)	30件	70件
小中学生向け出前講座の開催数 (年)	—	—	2回	3回

【達成状況】

- ・「男女の固定的役割分担意識を持たない市民の割合」については、この5年間で7.7ポイント上昇しましたが、目標値にはわずか届きませんでした。
- ・「女性相談窓口の相談件数」については、58件（平成23年度実績値）から30件と減少しました。
- ・「小中学生向け出前講座の開催数」については、平成28年度実績値は2回となっていますが、平成29年度は3回実施します。

【検証】

- ・「男女の固定的役割分担意識を持たない市民の割合」については、目標値を達成しつつある状況にありますが、継続して取り組むべき課題であると考えます。
- ・「女性相談窓口の相談件数」については、相談件数が減少したものの、女性を取り巻く様々な課題に行政として対応する必要があると考えられます。
- ・「小中学生向け出前講座」は、若年層への意識啓発という点で、第2次計画においても継続していく必要があります。

(2) 男女共同参画の視点に立った社会制度や慣行等の見直し

指標名	H18年度 計画策定時	H23年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 目標値
社会通念・慣習・しきたりなどの分野での「男性の方が優遇されている」と感じている市民の割合	70.7%	63.2%	65.7%	50.0%
「男女共同参画社会」という用語の周知度	—	64.6%※	20.8%	80.0%

※平成21年国調査の実績

【達成状況】

- ・「社会通念・慣習・しきたりなどの分野での「男性の方が優遇されている」と感じている市民の割合」については、平成23年度実績値より2.5ポイント上昇しましたが、目標値は未達成です。
- ・「男女共同参画社会」という用語の周知度については、20.8%であり、目標値は未達成です。

【検証】

- ・社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等に関する意識については、以前として「男性優遇」と感じる市民の割合が多くなっています。このことから、次期計画においても、引き続き、男女共同参画に対する普及啓発や意識改革への取り組みが必要です。
- ・「男女共同参画」に関する周知度は不十分であることから、様々な媒体を通じて幅広い世代に対して普及啓発を行っていく必要があります。

(3) あらゆる分野における政策・方針決定過程への共同参画

指標名	H18年度 計画策定時	H23年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 目標値
市の審議会等における女性委員の占める割合	18.2%	13.1%	23.6%	30.0%
市の役職者（係長以上）に占める女性の割合	19.9%	15.9%	23.0%	30.0%
「石岡市男女共同参画人材名簿」の登録者数	—	5人	29人	30人

【達成状況】

- ・「市の審議会等における女性委員の占める割合」については、23.6%（平成28年度実績値）となっており、現時点では目標値（30%）を達成していません。
- ・「市の役職者（係長以上）に占める女性の割合」については、23.0%（平成28年度実績値）となっており、平成23年度実績値より7.1%上昇しましたが、現時点では目標値（30.0%）を達成していません。
- ・「石岡市男女共同参画人材名簿の登録者数」については、29名（平成28年度実績値）となっており、目標値にわずか届いていません。

【検証】

- ・市の政策・方針決定過程への女性の参画は、女性の視点のみならず多角的な意見が反映できることから、今後も積極的に取り組む必要があります。また、女性の参画を進めるために、女性の人材に関する情報を取りまとめ、提供していくことが重要となってきます。
- ・女性職員の管理職への積極的な登用は、活力ある組織を形成するために重要な課題であり、女性活躍推進法による特定事業主行動計画においても数値目標を設定していることから、引き続き取り組むべき重要な課題です。

(4) 職場での平等，家庭や地域での生活と仕事の両立

指標名	H18 年度 計画策定時	H23 年度 実績値	H28 年度 実績値	H29 年度 目標値
家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させている市民の割合	23.7%	14.4%	13.4%	30.0%
市男性職員の育児休暇取得率	—	4.5%	4.8%	10.0%
がん検診受診率	—	子宮がん 10.0% 乳がん 10.7%	子宮がん 10.5% 乳がん 10.1%	子宮がん 20.0% 乳がん 20.0%

【達成状況】

- ・「家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させている市民の割合」は、13.4%（平成 28 年度実績値）となっており、目標値は未達成です。
- ・「市男性職員の育児休暇取得率」については、4.8%（平成 28 年度実績値）となっており、現時点では目標値を達成していません。
- ・がん検診受診率については、子宮がん検診受診率が 10.5%、乳がん検診受診率が 10.1%となっており、現時点では目標値を達成していません。

【検証】

- ・市民意識調査において、市が今後力を入れるべき課題として「仕事と家庭の両立支援」との回答が 41.1%でした。また、仕事・地域活動と家庭を両立できることが理想であるとの回答が 33.7%でした。女性の社会進出が進む現在、男性も女性も「仕事と家庭・地域活動」を両立していける環境づくりが求められています。
- ・市男性職員の育児休業取得率については、女性活躍推進法により定められた「石岡市特定事業主行動計画」においても数値目標（平成 32 年度までに 10%以上）を設定しています。「まず隗より始めよ」の観点から、積極的に取り組む必要があります。

(5) 国際的な視野に立った男女共同参画の推進

指標名	H18 年度 計画策定時	H23 年度 実績値	H28 年度 実績値	H29 年度 目標値
国際交流活動参加者数	350 人	1,000 人	1,200 人	1,000 人

【検証結果】

- 「国際交流活動参加者数」については 1,200 人（平成 28 年度実績値）となっており、目標値（1,000 人）を達成しました。

【分析】

- 国際交流活動への参加については、市民団体等が行う事業について周知が進み、毎年多くの市民に参加していただいていることから、一定の目標は達成されたものと考えます。
- 第 2 次基本計画においては、国際社会における男女共同参画の取組み（女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約やハーグ条約等）の周知を図ります。

